

第65号議案 令和5年度品川区一般会計補正予算 ChatGPTの導入について

1 背景・目的

ChatGPTは、聞きたいことを入力すると、事前に学習したインターネット上にある大量のデータをもとに、人間のように回答する人工知能である。自治体においても、ChatGPTを業務に活用する事例が出て来ている。ChatGPTを業務の補助ツールとして活用することで、大幅な業務効率化が期待できる。

効果を検証した結果、「業務の効率化」「業務の品質向上」に効果があることが確認できた。ChatGPTを速やかに利用すべきと判断し、令和5年8月8日のDX推進戦略会議で、本格運用を目指して進める方針を確認した。

品川区としては、速やかにChatGPTを業務に導入し、業務の効率化、品質向上を積極的に進める。

2 導入概要

(1) 利用方針

ChatGPTの特徴からその効果を考えて、以下の3つを利用方針とする。

- ① 作業の品質向上に向けて、積極的に利用する。
- ② 業務の効率化に向けて、積極的に利用する。
- ③ ChatGPTの提案にとらわれることなく新たな発想をもって、考える。

(2) 運用ルール

ChatGPTの特徴からそのリスクを考えると、以下の3つを運用ルールとする。

- ① 情報の真偽を確認し、取捨選択してから利用する。
- ② 「プライバシーや著作権の侵害」にあたらぬかを確認してから利用する。
- ③ ChatGPTへの投稿には、個人情報（※）や機密情報は入力しないこと。

※個人に関する情報であって、特定の個人が識別され得るもの。

- ・個人が特定できる氏名、住所、生年月日、電話番号、メールアドレスなど
- ・特定個人情報（マイナンバー） など

(3) システム対応

2つの対応で運用を補完できるシステムを利用する。

- ① 最新の文章生成プログラムを採用。（情報精度の向上）
- ② 区職員の利用内容を学習しない仕組みとする。（情報漏洩対策）

(4) 利用対象

全職員

(5) 利用業務

文書作成、文書要約、企画・アイデア出しなどの行政事務全般

(6) 導入スケジュール

令和5年11月 本格運用開始

3 他自治体の状況

(1) 導入済自治体

江戸川区、練馬区、横須賀市、つくば市、神戸市、長岡市、宮崎市、酒田市など

4 予算額

(1) 歳出 4,400,000 円

内訳 ChatGPT 利用料 3,300,000 円

@660,000×5 か月

(最新の GPT4 モデルで月 1,000 万文字プラン)

自治体専用 AI オプション 1,100,000 円

@220,000×5 か月

(品川区の庁内マニュアル等を学習させ回答させる機能)

第65号議案 令和5年度品川区一般会計 補正予算
区長部局によるいじめ相談体制の整備について

1 概要

いじめ相談窓口を新たに区長部局にも設置し、相談しやすい環境を整備する。学校、教育委員会その他関係機関と連携し、弁護士による第三者的視点等も踏まえながら、いじめの早期発見・早期解決に向けた機動的な対応を図っていく。

2 内容

- (1) いじめ相談員（会計年度任用職員）によるいじめの相談対応、教育委員会等との情報連携、その他関係機関との連絡調整
- (2) いじめ相談専門員（非常勤職員）によるいじめの事案対応に係る第三者的視点からの助言、法的見地に則った助言
- (3) いじめポータルサイトによるいじめに対する理解の促進、いじめの相談受付、区のにじめ対策に係る取組みの発信
- (4) いじめ情報収集促進チラシの配布による児童・生徒およびその保護者からの積極的ないじめ情報の提供の促進

3 運用開始日

令和6年1月4日

4 所管部署

総務課総務係

5 補正額

4,749千円

6 広報

- (1) 広報しながわへの掲載 令和6年1月11日号
- (2) 各区立学校の児童・生徒へのチラシ配布 令和6年1月4日
※上記いじめ情報収集促進チラシも併せて配布
- (3) 区ホームページやSNSへの掲載 令和6年1月4日